

小木曾猪兵衛 義民、農民学者。伊那南山一揆を首謀し、入牢経験もとに綿密に計画を練って、犠牲あるも成功に導いた。
おぎそいへえ
・ ・ ・ ・ ・ 1815 = 信濃国伊那の幕領南山郷の今田村で、代々惣代を務める家の子に生まれ、

水野志成老中 1818 = 3歳 :

シノブ 山鳴滝塾 1824 = 9歳 :

__松尾享庵の私塾に入門して頭角を現し、

__代講を務めるほどになる。

天保大飢饉始 1833 = 18歳 :

大塩平八郎乱 1837 = 22歳 : 大塩平八郎の乱に衝撃を受けた師享庵が蔵書を売却し窮民を救うのを見て、村民とともに深く影響を受け、
蛮社の獄・ ・ 1839 = 24歳 : 江戸に出て、浅田宗伯に学び、

__帰郷後、庄屋を務め、寺子屋師匠もするうち、

天保改革弾圧 1842 = 27歳 :

順天堂始・ ・ 1843 = 28歳 : この年、幕府の天保の改革に飯田藩主が参画して南山郷が増加されるも、

阿部正弘首座 1845 = 30歳 : この年、天保の改革の終焉とともに失脚して、再び幕府に取り上げられ、
孝明天皇・ ・ 1846 = 31歳 : この年、白河藩領とされてしまう。

__幕領が私領となって年貢が現物納となり、村々が陣屋に直訴して金納制が続くも、次第に圧力が高まり、

国定忠治磔・ 1850 = 35歳 :

尊徳報徳論・ 1851 = 36歳 : 復旧の御普請金が出るどころか、年貢が取り立てられ、

ペリー来航・ 1853 = 38歳 : 新任の郡奉行から、3年の猶予を置きながらも現物納を申し渡され、

安政大地震・ 1855 = 40歳 : *その撤回を求める決議をした南山36ヶ村の代表者の一人として陣屋に出願すると、合法的だったにもかかわらず、徒党を組んだとして入牢させられ、村々が詫言証文を入れて、ようやく帰郷。

松下村塾・ ・ 1856 = 41歳 : この年、現物納期限が来ると、村々は個別に嘆願し、金納継続が認められる代わりに、他の特典全てが打ち切られて困窮したため、幕領への復讐を求めて白河藩の悪政を宣伝する運動を始める。一般の村民らには隠密に、江戸の今田村出身の医者を経て幕閣に取り入り、嘆願書を寺社奉行所などに'張訴'したり、評定所の目安箱に'箱訴'しする一方、自らは講談師に扮して享庵の甥の医者は坊主頭の按摩をしながら、村民に語り歩いて決起を促し、

安政の大獄・ 1859 = 44歳 : *この年、高額の年貢米落札値段が張り出されると、ついに、村民らが一揆を起し、自らは表に出ず善後対策などを練るうち、村民らが団体交渉で勝利を収め、

桜田門外変・ 1860 = 45歳 : *なお不穏な動きがあって、江戸で'張訴' '箱訴'など続けるうち、完全な勝利となるが、村民首謀伴助らは一時入牢赦免となるも、なお地主らと戦いを続け、永久牢となってしまうが、

遣欧使節・ ・ 1861 = 46歳 : 今田村の"内願一味連中"が"内願一件荒増記"を書いて、厨子に封じ神社に納める。

8月18日政変 1863 = 48歳 : 奔走の結果、伴助は座敷牢に移され、

明治維新・ ・ 1868 = 53歳 :

戊辰戦争終・ 1869 = 54歳 :

初の日刊新聞 1870 = 55歳 : *この年、ようやく伴助が完全に自由の身になった。

明治6年政変 1873 = 58歳 :

大久保暗殺・ 1878 = 63歳 :

明治14年政変 1881 = 66歳 :

国民之友始・ 1887 = 72歳 :

帝国憲法発布 1889 = 74歳 : __没した。

「人づくり風土記(長野)」,